



享保4年(1719)建立の本殿(鎮座930年記念に改修)

曳船祭^{ひきふねまつり}の復活を待望する！

会長 森田 賢治

昭和十二年を最後として、以来、五十余年間中断している六郷神社の伝統行事「曳船祭」は、地域住民にとっても今や、幻の祭礼と化しつつある。

社会経済の安定充実と相まって、伝統行事の復活がめざましいとき、わが大田区においても、由緒ある祭事の復活を願う気運が生まれつつある。曳船祭はその最たるものというべく、この復活再現のために、神社総代、祭典委員、そしてなにより羽田地域の方々の尽力を切にお願いしたいものである。もとより崇敬会も、その実現に向かって協力を惜しむものではない。

崇敬会の本年度事業計画の一つとして、今年八月三日に「曳船祭をしのぶ会」を催すのも、単なる懐古趣味にとどまらず、曳船祭復活の可能性を模索して、実際にかつてのコースを船で走り、回想する集いなのである。

曳船祭復活を夢で終わらせることなく、近い将来、往時にまさる六郷八幡の水上渡御を再現させたいものである。

六郷神社崇敬会
平成2年度決算報告書
収支計算書(平成2年4月1日から
平成3年3月31日まで)

収入の部				円
前年度より繰越金				1,070,630
個人会費				2,091,000
法人会費				780,000
預金利息				2,472
寄付金				85,000
雑収入				98,015
合	計			4,127,117

支出の部				
六郷神社協賛金				864,150
備品費				66,180
会報発行費(第2・3号)				716,674
事務費				219,680
通信費				196,835
会議費				224,873
郵便振替払込料				31,610
消耗品費				164,284
渉外費				189,000
雑費				23,433
次期繰越金				1,430,398
合	計			4,127,117

資金残高内訳(平成3年3月31日現在)				
郵便振替貯金				1,201,260
城南信用金庫普通預金				116,970
現金				112,168
合計(次期繰越金)				1,430,398

監査報告書

監査の結果、上記平成2年度決算報告書は、正確であることを認めました。

平成3年4月28日

監事 代田秀雄 ㊞

7月7日
第2回

定期総会にご出席を

第二回定期総会を左記のとおり開催いたしますので、ご出席くださいますようご案内申し上げます。なお、総会終了後、懇親会を行います。

記

- 一、日時 平成3年7月7日(日) 午前11時
- 二、場所 大田区東六郷3-10-18 六郷神社社務所
- 三、会議の目的

(1) 報告事項

平成2年度会務及び事業報告の件

(2) 審議事項

1. 平成2年度(平成2年4月1日から平成3年3月31日まで) 決算報告書承認の件

2. 平成3年度(平成3年4月1日から平成4年3月31日まで) 事業計画(案)及び収支予算(案)承認の件

3. 監事1名選任の件

平成2年度の会務及び事業報告

平成2年度は、会員のみなさまのご理解とご協力により、当初の計画以上に多彩な諸活動を行うことができました。ここに改めて心から御礼を申し上げます。

本会の会員数も平成3年3月31日現在、個人675名、法人79社を数え、着実な増加を示しておりますが、さらに一段の発展を期するため、お知り合いの方にぜひご入会をおすすめくださいますよう、お願い申し上げます。

本年度は、常任理事会を9回、理事会を2回開催して、適切な会の運営を図り、会報も第2号、第3号を発行いたしました。実施事業の一部はすでに会報でお知らせしましたが、主なものを列挙すれば次のとおりです。

平成2年4月1日 第3回ついたち早朝まいり。短い講話「御神木・白旗の杉について」(平野順治副会長、以下同じ)
4月27日 会報第2号発行。
5月1日 第4回ついたち早朝まいり。講話「八幡塚のいわれ」
5月13日 第1回定期総会を六郷神社社務所で開催。

5月25日 ビデオデッキ付きカラーテレビ
(33インチ・ナショナル)奉納。社務所に設置。

6月1日 第5回ついたち早朝まいり。講話「六郷神社の神輿について」

6月2・3日 臨時大祭。会員参拝記帳所を開設。社務所に献花。

7月1日 第6回ついたち早朝まいり。講話「神橋(太鼓橋)について」

8月1日 第7回ついたち早朝まいり。講話「高木伊勢守寄進の手水石について」

8月3・5日 氏子青年会主催の納涼盆踊り大会に提灯5箇寄付。

9月1日 第8回ついたち早朝まいり。講話「忠魂碑について」

10月1日 第9回ついたち早朝まいり。講話「中村介助先生の褒徳碑について」

10月9・11日 石清水八幡宮へ本会創立奉告の参拝旅行。35名参加。

11月1日 第10回ついたち早朝まいり。講話「富士講の碑と六野半について」

11月3日 創立1周年を記念し、忠魂碑前に紅梅献木。境内において大日本茶道協会のみなさんの奉仕により献木式添釜野点。

12月1日 第11回ついたち早朝まいり。講話「大嘗宮の儀式について」

12月2日 大嘗宮の拝観と武蔵野御陵の参拝。氏子青年会と共催。バス4台、169名

参加。

12月22日 会報第3号発行。

平成3年1月1日 歳旦祭に清酒2斗樽奉納。社務所に献花。

1月3日 会員初詣昇殿参拝。150余名。

2月1日 第12回ついたち早朝まいり。講話「社務所玄関前の狛犬について」

3月1日 第13回ついたち早朝まいり。講話「明和6年(1769)の花表(鳥居)建立記念碑について」

平成3年度事業計画(案)

(1) 六郷神社ついたち早朝まいり(定例)

昇殿参拝後、短い講話があります。多数ご参加ください。(ただし元日を除く)

7月より10月まで 午前6時

11月より6月まで 午前7時

(2) 六郷神社曳船祭をしのぶ会

羽田から屋形船で曳船祭の発船場であった六郷橋付近まで航行し、海老取川から品川沖に出て海上パーティー。8月3日(土)、定員40名、会費1万円の予定。

(3) 秋季会員親睦旅行

秩父神社、三峰神社など参拝。長瀬ライン下り。10月6日(日)・7日(月)、1泊2日のバス旅行。定員40名、会費3万5千円の予定。

※なお(2)と(3)については後日、詳細をお知らせし、参加者を募集します。

(4) 境内記念碑などの解説板設置

六郷神社の境内にある史跡や記念碑などに、耐久性に富んだ高札型の銘板を設置します。

(5) 平成4年1月3日六郷神社初詣

会員とその家族の昇殿参拝を、次の2回に分けて行います。

第1回 午前10時

第2回 午前11時

神社から神酒と神札が授与され、崇敬会では境内で甘酒を進上します。

(6) 崇敬会会報第4・5号発行

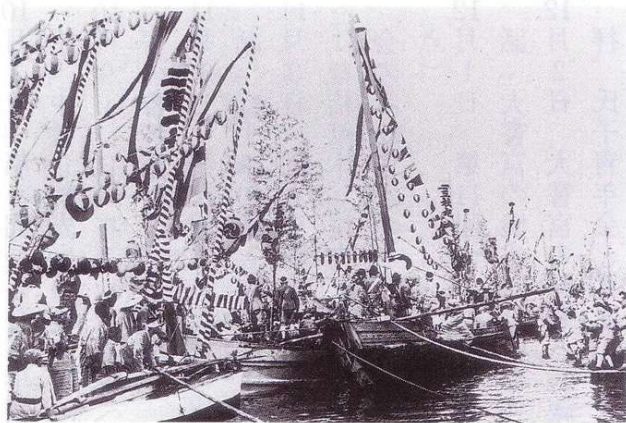
編集についてのご希望、ご意見をお寄せください

(会長・森田賢治)

六郷神社崇敬会 平成3年度収支予算(案)

(平成3年4月1日から平成4年3月31日まで)

収入の部		円
個人	会費	2,100,000
法人	会費	780,000
雑収入	入金	200,000
前期繰越		1,430,398
合	計	4,510,398
支出の部		
六郷神社協賛	金費	1,000,000
備品	費	100,000
会報	発行費	750,000
事務	費	250,000
通会	信費	250,000
郵便	替費	200,000
消耗品	払込料	35,000
渉外	費	150,000
雑費	費	200,000
準備金繰入	費	30,000
準備金繰入	費	1,000,000
予備費		545,398
合	計	4,510,398



昭和12年6月20日の曳船祭

六郷神社の曳船祭

ひきふねまつり

関東三大船祭りの一つといわれた六郷神社の曳船祭は、江戸時代から六郷川にくりひろげられた、じつに勇壮華麗な一大パレードであった。かつて羽田、大師河原が氏子であった関係上、

関神輿を御座船に乗せ、四艘の足船が長さ百五十尺の大綱で曳く。その後から各町会の迎え船と送り船が、囃子の音も勇ましく幟旗を風になびかせ、無数の観覧船と共に川を下って行った。

獅子頭修理される

太鼓一組の新調も

昨年の夏から浅草・宮本卯之助商店に依託してあった獅子頭の修理が終わり、大中小一組の太鼓も新調されました。

6月8・9日の祭礼に

は、この獅子頭をつけ、新しい太鼓を打ち、少女24名が元気いっぱい、古い伝統をもつ「雌獅子隠し」の舞いを神楽殿で奉納、喝采を博しました。



威力を増した獅子頭と新調の太鼓

新入会員名簿

自平成二年十二月一日
至平成三年五月三十一日

南二	仲二	南蒲田
石井一江	荒井敏夫	富田真市
東一	峯本ゆき子	新蒲田
増田史郎	西一	後藤友三郎
関一夫	北島恒夫	平井治郎
東三	西二	長谷川蔵吉
阿部シカ	大場スエ子	多田新一
北市和雄	川崎市	加藤栄一
横内唯吉	福田五雄	多田一郎

◆会費納入のお願い

お手数ながら同封の振替用紙で、平成3年度の会費（平成3年4月1日より同4年3月31日までの分）未納の方は、お納めくださいますようお願い申し上げます。

発行 六郷神社崇敬会

〒144 大田区東六郷三十一十八

六郷神社社務所内

電話 〇三三七三一・二八八九

振替 東京九一一三・五五三

編集 平野順治